



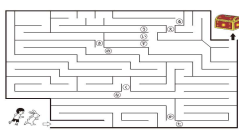
5歳児クラス 11月 第2回 「たからさがし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 棒（杖）をめくり、競い合う種目に興味を持つ。 おばあちゃんの知恵「たからさがし」の意味を理解する。 	教材	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の表紙を提示、ゆうじとギックを紹介し「たからさがし」「何が宝なのか」「何を探するのか」等の話をして、映像シアターに発展する。 あらかじめ新聞紙などで棒（杖）を作っておき、講師と保育士で取り合う場面などを演出してからお話を始めても楽しい。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの一員なりお話を聞く 

がくしゅうタイム

活動①	お話し	ことば	お話を思い出し自分だったらどうするかを考え、ことばで表現することが出来る。
設問	お話の内容について話し合しましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「宝物って、なんだったかな…」 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 皆が宝の取り合いになったらどうする？ どんな競争で二人は戦ったかな？ あんなに取り合っていたのにどうして欲しくなくなったんだろう？ <p>※お話に出てきた場面を再度映像で映しだしながら、みんなで感じたことを話し合う。</p>		
活動②	お話し	書く	迷路をたどりながら暗号を解くことが出来る
設問	ゆうじとギックからスタートし宝箱のあるゴールまで、壁にぶつからないように気をつけ進み暗号を解きましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「ゆうじとギックからお届けものです」 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ありがとう」「なんだろうね…なにに、ゆうじとギックが、道がわからないみたい、みんなで助けてあげよう」「暗号が隠されているので、それも気をつけて見てね」等で、ルールを説明する。 道の真ん中を通る、道があっていたその道のひらがなに○をする、行き止まりになったら戻る等、ルールを伝える。 プリント、を配布し、迷路を始める。 花丸やハンコ等で賞賛する。 （暗号がわからなくなならないように右下のあたりに小さく） 全員が終わった所で暗号を読む。すると…「たなのうえ」 <p>※お部屋の中の「たなのうえ」に、宝箱提示カードを貼った袋を事前に置いておき、先生が取りにいく。</p>		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 教材 P 1 ★鉛筆 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の役割 子どもと一緒に考える 子どものフォロー 賞賛 		

活動③		描く	自分の宝物を描くことができる	
設問	宝箱に自分の宝を描きましょう。			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「たなの上にこれがあったよ」宝箱袋を提示する。 講：「なんだろうね、見てみよう」宝箱袋から宝箱を提示。「開けてみよう、あれ？何にも入っていないね」 講：「ゆうじとギックからお手紙だよ、読んでみるね」 「皆さんの宝物は何ですか？この宝箱に描いてください。」 「自分で自分の宝物を描くんだって」「よし！描いてみよう」等で、自分の宝物を決めて描いていく。 全員が描き終わったら、発表会や展覧会をして賞賛する。 		教材 P2 たから箱提示カード （袋に貼っておく） ★クレヨン	
			保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 宝箱袋を取りに行く プリント配布 子どものフォロー 賞賛

数子ヤレ		数	10の操作ができる	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう。			おはじき お皿（5個～7個入り） お皿（数個）
活動内容	<p>今月は10個の操作です。お皿に5～7個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿（数個入っている）そこから5～3個取りお皿に入れて10個になったか数える。（クラス・個人に合わせて数を調整する。）</p>		保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 皿提示 子どものフォロー